

高信頼性ICタグ

人間はヒューマンエラーを起こす

東京都調布市の小学校で、2012年12月20日に、11歳の女生徒が、アレルギー症状でお亡くなりになりました。原因は給食で担当教師が生徒のアレルギー体質を見過ごしてしまったためのようなのです。給食で与えてはいけないようにメニュー表のところにX印があったのですが。

ヒューマンエラーとはなにかよく思うのですが、人間ほど知的な動物は逆にヒューマンエラーを起こしやすい特性をもっています。同じ作業でも、多数の人が関与していると誰かがとんでもないミスを犯すことは日常よくみていることです。また同じ人でも実績ある繰り返しの作業をその日のコンディションで思わぬ間違いをすることもあります。

人間は考える動物で創造的な仕事にはとてつもない力を発揮する反面、繰り返しや単純なことを間違いなく行うことは意外と難しいです。

ヒューマンエラーは誰にでも起こることです。この場合、担当の教師を責めるのではなく、どのような仕組みをつくれれば撲滅できるものかよく考えるべきだと思います。人間の注意力には限界があることをよく承知して、どんな場合でも絶対ヒューマンエラーを起こさない工夫が必要だと思います。